

**2018年7月  
西日本豪雨被災地支援活動  
看護師派遣まとめ**

2018年11月  
日本医療福祉生活協同組合連合会  
日本生活協同組合連合会

---

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

1 はじめに.....	1
2 活動内容及び参加者情報.....	5
3 看護師の標準的な活動内容 .....	6
4、5 日本生活協同組合連合会作成ニュース抜粋及びスタッフ派遣報告書について .....	7
スタッフ派遣報告書.....	8

## 1. はじめに

平成 30 年 7 月に、台風7号が九州に接近した3日以降、9日午後1時現在、13府県で96人が死亡、行方不明者も発生、西日本を中心に降り続いた記録的な大雨により、顕著な被害が発生しました。大きな被害があったのは、福岡、佐賀、長崎、広島、岡山、鳥取、京都、兵庫、岐阜、愛媛、高知の11府県です。

日本生協連では、各府県連との細やかな調整を行いつつ支援体制を整えてきていましたが、7月に広島県社会福祉協議会より「広島災害ボランティアセンター運営支援及び看護師派遣の要請」<sup>1</sup>があり、広島県生協連<sup>2</sup>と協議のうえ、会員生協及び医療生協連<sup>3</sup>と強力な連携のもと、7月25日から9月30日まで、ボランティアの体調管理を目的に生活協同組合に所属する看護師を派遣したので、ここに報告いたします。

なお本活動は、日本財団より「平成 30 年 7 月豪雨災害に関わる支援活動」として、支援を受けましたことを合わせて報告いたします。

---

<sup>1</sup> 広島市社会福祉協議会作成 西日本豪雨に関わる広島県内被災者への支援活動のため「広島市災害ボランティアセンター」運営スタッフ及び看護師派遣のお願い

<sup>2</sup> 広島県生活協同組合連合会専 務理事 高田公喜作成西日本豪雨に関わる広島県内被災者への支援活動のため「広島市災害ボランティアセンター」運営スタッフ・看護師派遣のお願い

<sup>3</sup> 日本生活協同組合連合会 専務理事 和田 寿昭作成 西日本豪雨災害支援「広島市災害ボランティアセンター」への看護師派遣延長のお願い

2018年7月19日

広島県生活協同組合連合会  
専務理事 高田 公喜 様

広島市社会福祉協議会  
事務局長 藤岡 信明

西日本豪雨に関わる広島県内被災者への支援活動のため  
「広島市災害ボランティアセンター」運営スタッフ及び看護師派遣のお願い

平素から広島市社会福祉協議会の運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、7月6日の集中豪雨から二週間余りが経過し、被害の広域さや深刻さが明らかになってきました。土砂災害による泥かき・片付けが落ち着かない中、避難者の心のケア、ボランティアの要請、猛暑による熱中症への対策など多岐にわたるニーズに変化をしていくことが考えられます。

このような状況を踏まえ、広島県生協連様をはじめ全国の生協関係者の皆さまに、被災地域の災害ボランティアセンターの運営支援、看護師の派遣をお願いいたします。今回お願いしたい被災地域の安芸区は、この間交通事情が悪いことなどから復旧活動や泥かきなどが進んでいない状況でしたが、今週末に道路の復旧が予定されています。

このような状況を踏まえ、派遣を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 要請内容：

「広島市災害ボランティアセンター」運営スタッフ及び看護師派遣

2. 支援先

「広島市安芸区災害ボランティアセンター」

3. 期間：2018年7月23日の週～8月末頃

4. 支援いただきたい内容：

(1)「広島市安芸区災害ボランティアセンター」の運営支援及び看護師派遣

①運営支援

本部運營業務（受付係・オリエンテーション係・車両係・総務係等）

②看護師派遣

活動ボランティア健康管理

以上

2018年7月20日

日本生活協同組合連合会  
専務理事 和田 寿昭 様

広島県生活協同組合連合会  
専務理事 高田 公喜

西日本豪雨に関わる広島県内被災者への支援活動のため  
「広島市災害ボランティアセンター」運営スタッフ・看護師派遣のお願い

平素から広島県生協連の運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、7月6日の集中豪雨から二週間が経過し、被害の広域さや深刻さが明らかになってきました。土砂災害による泥かき・片付けが落ち着かない中、避難者の心のケア、ボランティアの要請、猛暑による熱中症への対策など現地支援のニーズは多岐にわたってきており、長期化も見込まれております。

このような状況の中、7月19日に広島市社会福祉協議会より災害ボランティアセンターの運営支援とボランティアの熱中症対策のため看護師が不足しており、生協からの協力がほしい旨要請を受けました。要請を受けた活動拠点は広島市安芸区です。安芸区は今週末に道路の復旧が予定されておりますが、この間交通事情が悪いことなどから復旧活動や泥かきなどが相対的に進んでいない状況となっております。

つきましては、貴連合会より全国の生協への支援をお願いしたく、下記の通り要請いたします。

記

1. 要請内容：  
「広島市災害ボランティアセンター」運営スタッフ（2名程度）・看護師（2名程度）の派遣
2. 支援先  
「広島市安芸区災害ボランティアセンター」
3. 期間：2018年7月23日の週～8月末頃
4. 支援いただきたい内容：
  - (1) 「広島市安芸区災害ボランティアセンター」の運営支援・看護師派遣
    - ①運営支援  
本部運営業務（受付・オリエンテーション・車両・総務・サテライト等）
    - ②看護師派遣  
活動ボランティア健康管理

以上

日本医療福祉生活協同組合連合会  
専務理事 東久保 浩喜 様

日本生活協同組合連合会  
専務理事 和田 寿昭

西日本豪雨災害支援「広島市災害ボランティアセンター」への看護師派遣延長のお願い

日頃より大変お世話になっております。

また、この間、広島市安芸区災害ボランティアセンターへの看護師派遣に協力を賜り、誠にありがとうございます。

安芸区災害ボランティアセンターは、4つのサテライトセンターがありますが、最も被害の大きかった矢野地区での本格的な復旧活動が開始され、継続してボランティアが必要な状況にあります。記録的な猛暑は峠を越えつつありますが、まだまだ熱中症への対策が必要であること、ボランティアの体調管理全般を見守る体制が必要であることから、広島県生協連から、看護師派遣の延長要請が出されております。

つきましては、貴連合会・会員生協からの看護師派遣支援延長のご協力をお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. 支援要請内容：

- (1)「広島市安芸区災害ボランティアセンター」への看護師（平日1名、土日祝日2名）派遣
- (2) 上記支援活動の全体コーディネート

#### 2. 支援先

「広島市安芸区災害ボランティアセンター」

#### 3. 期間：2018年9月1日～9月末

#### 4. 看護師支援内容：

- ・活動ボランティアの健康管理全般
- ・災害ボランティアセンターから活動に出るボランティアの見守り、声掛け、必要なケア等

以上

## 2. 活動内容及び参加者情報

看護師派遣期間	2018年7月25日から9月30日
内容	<p>被災地支援を行うボランティアの健康を管理し、安全に適切にボランティア活動が継続できるよう支援する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 体調不良者への対応</li> <li>➤ 熱中症予防のための声かけ、見守り</li> <li>➤ ボランティア活動中の創傷及び打撲等の初期対応</li> <li>➤ ボランティア活動者の健康相談</li> </ul>
活動地	<p>広島県安芸区災害ボランティアセンター 及び 安芸郡坂町ボランティアセンターを拠点にボランティアに同行し活動を見守り、健康維持のための声かけみまわり</p>
参加法人 派遣看護師数	24法人 53名

### ➤ 参加派遣法人及び参加者数

右の表参照

	派遣法人	派遣看護師数
1	福井県民せいきょう	1
2	ひかわ医療	3
3	ヘルスコープおおさか	2
4	みえ医療福祉生協	1
5	みなと医療生協	2
6	医療生協かわち野	1
7	医療生協健文会	4
8	沖縄医療生協	2
9	宮崎医療	1
10	広島中央保健生協	5
11	香川医療生協	2
12	高知医療生協	2
13	鹿児島医療生協	3
14	出雲医療生協	4
15	松江保健生協	7
16	神戸医療生協	1
17	大分県医療生協	1
18	長野医療生協	1
19	鳥取医療生協	3
20	津山医療生協	1
21	徳島健康生協	2
22	尼崎医療生協	1
23	福山医療生協	2
24	和歌山中央医療生協	1
	24法人	53名



### 3. 看護師の標準的な活動内容

#### (1)原則 2泊3日で参加

- ・前泊し現地ボランティアセンター朝 8時半集合。
- 現地付近に在住の看護師等は、日帰りでの参加の方もいらっしゃいました。
- ・活動時間:猛暑のため、炎天下での日中活動時間は朝 8時半～9時に開始し、午後 1時までの 4.5 時間程度に設定されていました。この時間は、ボランティア活動時間と同じ設定でした。背景には、全国から集まっている貴重な支援の担い手であるボランティアの方々の熱中症予防、疲労回復等の健康維持のため、ボランティアの方々が適正に活動できるようにするためです。途中休憩をとりながらの活動でしたが、ボランティアセンターに戻ってきたみなさんの体力は、かなり消耗されていました。

#### (2)持ち物

- ・着替え、熱中症予防のための長そで、冷却保存、その他

(3)派遣場所は、ボランティア数や支援場所にもとづき、ボランティアセンターにいる現地のコーディネーターから当日の朝に指示をうけ、現地活動1カ所につき、おおむねNs2名の組み合わせで活動しました。

- \*コーディネーターからは、「生協ナース」として、確実に活動予定(派遣予定)が計画されていることに対し、非常に期待が高く、感謝の声も聞かれていました。
- \*なお、現地には全国から自分のお休みの日を活用し、ボランティアとして参加しているNsも複数名いらっしゃり、生協ナースたちも共に活動しました。

上記業務内容について、初回目となる7月25日に、コーディネーターを目的に日本生活協同組合連合会組織推進本部所属の職員が、初日 2名の看護師に同行し、上記業務内容を確認。初日業務終了後、2名のNsと共に広島県生活協同組合連合会のみなさまと協議し、活動したNsからの意見を踏まえ、2日目以降の業務内容を確認、決定しました。

#### 4. 日本生活協同組合連合会作成ニュース抜粋

本活動の周知は、組織推進本部地域サステナビリティ推進部と、地域コミュニティ担当がニュースを作成し、適宜配信されています。

#### 5. スタッフ派遣報告書

本活動に参加した看護師のみなさんに、活動内容、支援先の状況、感じたこと等について記載してもらいました。

報告の内容には、活動報告とともに、支援先で出会った方々、被災を受けた方々との触れ合いから、感じたことが記載されています。また多くの看護師達が、本活動に使命感を持って取り組んでこられたこと、町で出会った現地の方、被災された方々から感謝されたこと、全国から集まったボランティアの方々の考え方に触れる機会を持ったことから、学び多い機会となった様子がうかがえる記載もあります。

ご提出いただいた方々の記録は次項以降をご参照ください。

---

#### \* 本活動の支援体制

---

法人名 責任者	ご担当の方々
広島県生活協同組合連合会 代表理事専務 高田公喜	事務局長 福島守 専務スタッフ担当課長 森嶋哲司
医療福祉生協連 常務理事 馬場康彰	執行役員 高瀬信之 総務部部長 椎野智子
日本生活協同組合連合会 福祉事業推進部 部長 山際淳	福祉事業推進部 梅津寛子 野村文亮 宮澤育子

---

以上

## スタッフ派遣 報告書

生協名	福井県民生活協同組合 名前	派遣期間	H30 7/26 ~ 7/27
-----	---------------	------	-----------------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

○	広島市安芸区災害ボランティアセンター	
	その他( )	

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

7/26 安芸区中野地区：午前1回 ボランティアが活動している自宅を1軒ずつ回る。休けいや水分、塩分の声かけを行う。午後より戻ってくるボランティアの汗拭きタオルやうかしの準備を行う。

7/27 安芸区瀬野 清山地区：2回に分けて、土砂出しの方への声かけや休けい、水分、塩分、うかき、車洗いの声かけ。熱中症症状と見察に見つけていく。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

2日間活動してみて、ボランティアセンター（特にその場所に設置するサテライト）が、とても重要であると思いました。その日、その場所で支援していく必要があり「昨日は、うたった」「先週は、うたった」は、発音にしかならず、その場で考えて、判断行動していく大切さや重要でした。又、ひとりでは、決断できない所は、NVAみんなが相談して決定していった事が良かったと思います。

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

1日目のサテライトは、地域の方、中には70代くらいの方々も活動しておられ、地域で復興を目指しているのを感じました。又、自転車で回っていると、「ありがとう！」と自然に声をかけてくださる事もうれしかったです。

2日目は、亡くなった方もおられるという地区でした。川の流れる変わり、家が崩れ、土砂が流れこんだ様子も残っていました。そんな中でも、ボランティアの方に1回1回お礼を言い、トイレを貸して下さったり、お水を提供して下さりと、助け合っている姿が印象的でした。最後のあいさつ時に「ありがとう、ごいりました」と言い、涙でその後が出なかったのも、今までのご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です。思い当たると実感しました。

## スタッフ派遣 報告書

生協名	健文会 (山口)	名前		派遣期間	2018/7/26. ~7/27
-----	----------	----	--	------	------------------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

○	安芸市災害ボランティアセンター
	その他( )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

1 日目：(中野地区) ボランティアの活動場所を自転車で巡回して体調チェック（休憩と水分促しの声かけ）。被災された方の健康状態の確認。活動終了後、サテライトに帰られたボランティアさんのうがい水を作りうがいと手洗いを実施していただくよう声をかけをしました。

2 日目：(瀬野、清山団地) 災害被災者宅の臨時サテライトで、ボランティアさんに氷や水分を渡し体調チェックを実施。土砂を川に捨てる時に、一輪車が川に落ちないように介助。15分作業 15分休憩の時間管理を実施した。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

中野地区のサテライトは、市民センターのようなところで、物品も十分そろっていたので、特に持っていくものも必要ない状況でした。活動場所が点在しているため、自転車で巡回をしましたが、看護師が3人だったため、1回しか巡回できなかった。もう少し看護師数が多いと2巡回位できたのではと思われます。瀬野地区では、臨時サテライトということもあり、途中でなくなる物品などもあり、必要物品の補充を十分していないと困るのではないかと思います。しかし、瀬野は看護師が5人いたので、看護師も少し休憩をしながら活動できました。こちらは、長靴が良かったです。(本部で借りていきました。)

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

「災害支援で看護師がいるのは初めてです。看護師さんがいると安心ですね。」とあっていただき、皆さんにとっても喜んでいただけました。2日間だけでしたが、災害地域の状況やサテライトの状況は活動場所によって違うので、臨機応変な対応が必要だと感じました。被災された方々は、本当に感謝の気持ちで一杯なので、看護師は明るく元気に挨拶や声かけをして、その場を元気づけられるようにできるとよいなと思いました。ボランティアの皆さんは、時間も忘れて一生懸命活動されるので、顔色や体の状況などを確認しながら、活動時間、休憩時間の時間管理を看護師が実施し、体調の管理をしっかりしていくことが大切だと感じました。体調を崩される方がおられなかったことが一番ほっとしました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。たくさんの看護師さんに支援してもらえるとうれしいです。広島生協の専務さんをはじめスタッフの皆さま大変お世話になりました。2日間お世話をいただいた、森島さん、梅津さんありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です。

## スタッフ派遣 報告書

生協名	斐いほゆか	名前		派遣期間	8/1 ~
-----	-------	----	--	------	-------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

	○ 広島市安芸区災害ボランティアセンター
	○ その他( 中野区 )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

- ・現場へ水分補給促進と体調不良者の有無確認。
- ・被害にあわれた方のBP測定。体調確認。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

- ・若い方のボランティアが99く、体調に自信がある方が99かた。とても暑い日だったので、体調に自信があっても、水分補給の必要性があることを重点説明したいという75かと思いた。

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

被害にあわれた方の精神的、身体的苦痛はとても大きいものだ、対話をすることで  
 実感できる部分がありました。現場に行くということが、大事だと改めて思いました。

ご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です。

スタッフ派遣 報告書

生協名	ひかり生協	名前		派遣期間	2018.8/1~9/7
-----	-------	----	--	------	--------------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（字体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

<input checked="" type="radio"/>	広島市安芸区災害ボランティアセンター
<input type="radio"/>	その他( )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

ボランティアの方々の健康管理。休む中、作業中には声かけを行って。休む時は腰を動かす、冷却できるものを伝える。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

支援先の家は白陰があり、休むしやすかった。

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

熊本支援の経験が多少あっても、今回の参加にはまだ慣れていない。大きな支援はできなかった。猛暑のため熱中症は心配。継続的な支援に協力してほしいと思う。

ご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です。

## スタッフ派遣 報告書

生協名	出雲医療	名前	-	派遣期間	8/3 ~ 8/4
-----	------	----	---	------	-----------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

○	広島市安芸区災害ボランティアセンター
	その他( )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

8/3：受付場所を間違えたため他のボランティアの方と一緒に人数が揃うまで待たされ、正しい看護師ボランティアの受付に9時前に到着。地域毎に出かけるボランティアさんへのオリエンテーションを聞き、NSコーディネーターからオリエンテーションを受けた。その後、他から参加の看護師2名と畑賀の福祉センターに氷と共に送っていただく。

畑賀の福祉センターで、救護物品の確認・氷水にタオルを入れて冷たいタオルを準備した後17人のボランティアが参加されている現場に行き、声掛け・体調確認をしながら、冷たいタオルを配った。12時半ごろ終了し片づけをして、後発チームと一緒に畑賀の福祉センターに帰った。現場で地域の方に被災と復旧の現状を聞かせていただいた。

8/4：瀬野(?)の個人宅へボランティアの方と一緒にバスで向かった。現場には社協の方・男性NSがすでに来ておられた。20人のボランティアさんが2グループに分かれて、作業・休憩と男性NSのタイムキーパーで15分毎に交代された。休憩時に一人一人に声掛けをして、体調を確認した。個人宅には外に水道があったので、休憩になるとできるだけ手洗いをしてもらい、水分補給・クーリングを促し、長靴を脱いで休憩してもらおうようにした。途中氷が届いたので、休憩時にはビニール袋に入れた氷を配り首・頭のクーリングを促した。1名石でズボンが破け膝を擦りむいた方があり、傷を水で洗い消毒をしてカット版処置をした。お家の方も、一緒に作業をされていたので、声を掛け、休憩・水分補給・クーリングをしていただいた。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

8/3：ボランティアは今日までと言われている。畑の土砂等手付かずなので、町内会でボランティアを募集しようかと話している。と言っておられた。ボランティアの手がまだまだ必要だが仕方ないという思い。町内の方4名で冷たいタオル等を準備してボランティア対応をしておられた。バスは来週から運行する。坂の上は道も崩れたままで、車も家から出せない。明日から重機が入るのでそれからだとの事。

8/4：本日初めてボランティアが入ったところ、家の方が冷たい麦茶・扇風機・椅子などを準備しておられた。重機が必要な状況だが、狭い場所で重機が入らないため人手での対応が必要。ご家族の健康も心配だった。娘さんに声を掛けると、私もボランティアとかしないといけないと思うけど、家がこの状況なので・・・。本当にボランティアさんに来ていただけるんですね。と、(家の後ろの山が崩れ、岩・土・倒木・木の枝などが外壁に覆いかぶさっていた)

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

とにかく暑いので要注意。その時は一生懸命で解らなくても、ホテルに帰ってから、帰宅してから具合が悪いのに気付かれることもあると思います。休憩になったら、できれば手洗い・飲水・クーリング・長靴を脱いで足を冷やすことが必要と思いました。社協から現地に来ておられる方も注意してみてあげないと、休憩なしで動いておられる方があります。個人宅の場合は、お家の方、町内で対応しておられる地域は町内の参加者にも声掛けが必要です。

流水がある所（水道等）は、休憩に入ったとき手洗いができていいと思いました。

氷・氷漬けの冷えたタオルは貴重で、作業にとってありがたいです。氷はクーリングに、作業者のタオルは、汗やほこりや泥で汚れているので冷たいタオルは、手や顔を一時的にでもきれいにできます。但し、タオルを洗い再生する手間がないので・・・難しいですね。

社協の方の対応は地区で違うようですが、2日目に現地におられた方は、休みなく頑張られるので心配でした。看護師も軽い熱中症状態になります。水分を取って、しっかり食べて、その日の疲労をその日に解消する必要があります。自分自身も注意です。

広島から参加のボランティアさん達は、他県から参加のボランティアに、「来ていただいてありがとうございます」と言われます。すごいなと思いました。

5年前に安芸地区のボランティアに参加した女性は、前回と比べ今回は看護師さんも一緒に入っておられて、休憩の声掛けなどもあって安心できました。と言われました。ボランティアセンターから帰られる時、会社の仲間に参加したというその女性を含む5人グループに「お世話になりました。」と声を掛けられました。（声掛けくらいしか、何もしていないのですが・・・）

受付を間違えて、ボランティアさん達と待っている時、神奈川から来られたという男性は「漫画喫茶に寝泊まりして、2週間参加している」との事。「それでも行く現場の数が減りつつあり、ちょっとずつ復興できてるんだなあと思い嬉しくなる。」と言われ、感動しました。

複数回参加している方達は、ボランティアさん同士が顔馴染みになっておられました。

また、ボランティアさん達の笑顔や明るい会話も、現地の人たちを元気にされていると感じました。



## スタッフ派遣 報告書

生協名	広島中央保健生協	名前		派遣期間	8/8
-----	----------	----	--	------	-----

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

○	広島市安芸区災害ボランティアセンター
	その他( )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

8 : 20	安芸区ボランティアセンター集合 サテライトナースの方へのオリエンテーション ボランティアの人と一緒に注意事項のオリエンテーション
9 : 00	バスに乗って矢野東7丁目のお宅に向かう（豪雨災害で庭に多量の土砂が入ったお宅）
9 : 20	10人のボランティアに看護師2名 15分経ったら休憩のタイムキーパーを担う 冷たい飲み物の準備 ボランティアの人への声掛け 一緒に泥だし作業も行う
12 : 15	現地での活動終了 体調不良者はおられなかった。 13 : 30 終了

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

<p>庭に大量の土砂と大きな石が流れ込んで来た。この間、何日間かボランティアが入り、随分土砂は取り除かれたようでした。しかし、土嚢は電柱より道路側に積み上げてはいけなかったので土嚢を置くスペースが無く、土嚢回収の車も頻繁には来てもらえないので困っておられました。細かい部分はスコップで掻き出すしかありませんが、重機が入る事が出来ればもっと早く作業ができると思いました。</p>
--

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

<p>看護師の役割として「ボランティアの人に無事帰っていただくのが役割です」とオリエンテーションを受けました。看護師一人一人に本部から熱中症対策を中心としたグッズを受け取り活動に出ました。活動が終了してボランティアセンターに帰ると、靴を洗う、手を洗う、消毒、うがいをする、冷たいタオルをもらう、冷たい飲み物コーナーがあり、そこの担当の方がボランティア一人一人に労いの言葉をかけながら誘導されていました。最初のオリエンテーションもそうですが、ボランティアの人への配慮が行き届いていると感心しました。</p>
--

ご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です。

生協名:出雲医療生協

名前:

派遣期間:8月9日~10日

..活動内容

1 日目は、中野地区という所のお宅に窓ガラスの掃除のためボランティアの方が入られるのに同行した。水分補給を促す声掛けや持参した熱中症予防の塩飴を渡し摂取してもらった。看護師2名で行動していたので、作業を少し手伝った。

2 日目は、矢野東へ土砂の片付けに同行。屋外での作業だったため、1日目と比較してとても暑かった。氷の準備や水分を準備し、体調を伺う声掛けを行った。

タイムキーパーをして、休憩時間がきちんと確保されるようにした。

..支援先の状況

郵便局が閉鎖されており営業していなかった。道路が通行止めの所もあれば、通常通り通れるところもあった。道路の土砂はほとんど片付けられ、土嚢が置いてあった。

災害支援のトラックも来ていたが、大きな岩やゴミなどが積み上げてある状態だった。

道路が陥没していたり、家が崩れたままになっている箇所はたくさんあった。

..感じたこと、伝えたいことなど

今回初めて災害現場に行き、1ヶ月以上経った今でもまだまだ不自由な生活を送っている方が大勢いることが分かった。土砂がそのままになっており、衛生的にもよくないのではないかと思った。2日目に伺った家の方は、60代の方が2人暮らしでどこから手を付けていいか分からなかったと言われており、ボランティアの人に来てもらいすごく助かると。今回はボランティアに来ておられる方の体調管理をさせてもらったが、ボランティアさん達をまとめる現地の方もすごく大変だなと感じた。

実際、そこに住んでおられるか方の話を少しだが聞くことが出来て良かった。

また機会があれば、参加したいと思った。とても考えさせられる良い経験になった。

## スタッフ派遣 報告書

生協名	徳島	名前		派遣期間	8/11～8/12
-----	----	----	--	------	-----------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

○	広島市安芸区災害ボランティアセンター
	その他( )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

前泊で広島入り。11日はボランティアセンターに集合後、本日担当する地域のボランティアグループ（20名）と共にバスで移動。ボランティアのリーダーさんと皆さんの状態を見ながら、作業・休憩の繰り返し。はじめは15分で交代していましたが、炎天下のもと作業に熱中。途中から10分ごとに変更。休憩してくださいと大きく声をあげて、水分補給やクーリングを勧めました。ボランティアの皆さんも準備万端で水分も持参でしたが、水分補給はしっかりしていただき、途中で水分と氷の追加をボランティアセンターにお願いしました。手の平のまめがつぶれたなどありボランティアセンターで報告したところ、翌日のQQセットにはテーピングなど追加されており良かったです。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

8/11 溝の泥かき・土嚢つめの作業。前日にユンボでかき出してくれていたとのことで、溝沿いに泥の山ができていました。家沿いに土嚢が積みあがるので車の通行ができなくなっていたのと、周りが高齢者世帯なので、非常に助かったと町内会の方が話してくれました。近所の方も一緒に作業しましたが、先日の雨で山からまた泥が流れてきてきりが無いと言われていました。

8/12 民家の床下の泥かき 川から一気に泥混じりの水が来た。住んでいたのは高齢者夫婦でいのちに別状なかったが、後が困っていたとの事。息子さんは県外在住で、ずっとはられないため助かったとの事。

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

今回は支援要請で勤務としての参加でしたが、ボランティアの方はほぼ自力。会社のボランティア休暇を利用してきたなど、参加者の間で休憩中にどこから来たなどの情報交換もしながらわきあいあいと。熊本地震の時に世話になったから今度は逆にと思って参加したなど動機は様々ですが、本当に頭の下がる思いです。生活物資などは入ってきてると聞きますが、元の生活を取り戻すまではまだまだ時間がかかります。公的な補助はもちろんですが、今回のボランティアさんの話しを聞いてボランティアができる雇用者側の環境整備も必要なかと思いました。

今回生協の看護師です。と言うと生協さん民医連さんは災害があると支援に来てくれますがそのような制度があるのですか？と聞かれました。制度ではないですが、人々の命と健康を守る団体ですから何かあれば必ず支援には。ちょっと自慢です。

ご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です

## スタッフ派遣 報告書

生協名	生協さえき病院	名前	派遣期間	8/22、 <del>8/31</del>
-----	---------	----	------	-----------------------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

○	広島市安芸区災害ボランティアセンター
	その他( )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

派遣の看護師 4 名と矢野サテライトで各ボランティアの派遣先の場所を巡回して、ボランティアの健康チェックを行う。その他気分不良者等への対応（1名軽度の熱中症対応あり⇔その後回復し帰宅）、休憩室での手洗い、うがいの手伝い、土砂出しやサテライト業務の手伝い（片付けや物資搬入、清掃等を行う。また巡回では水分補充、濡れタオル配布等を行う。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

矢野地区は想定していたより片付けが進んでいて、土砂出しも少なくなっているように感じた。またボランティアの活動については、集合時間にバラツキがあり活動時間もまちまちとなっていたがもう少し一斉に開始出来ていたら、効率性が上がるのにと感じました。看護師支援者については最低 2 日～を基本としないと、1 日だけでは慣れないし、慣れたら終了となってしまうのと、支援グループ全員が初めてだと動き自体が分からず、時間ばかりが経ってしまう恐れを感じました。

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

矢野地区の片付けは進んでいるように感じたので、それに比べて坂町や呉地区はまだまだ土砂だしや家屋の片付けの進んでないところが多く、支援の必要性を感じているのでそちらにシフトが可能であるならそうしてもらいたい。

ご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です。

## スタッフ派遣報告書

生協名	松江保健生活協同組合	名前		派遣期間	8/25～8/27
-----	------------	----	--	------	-----------

活動先	広島市安芸区災害ボランティアセンター
-----	--------------------

### ●活動内容

#### 派遣期間中に行った支援活動の内容

1日目は雨の為に支援は中止。  
2日目は、ボランティアの方10名とバスで安芸区瀬野の一軒の住宅に行きました。ボランティアの方の体調管理の為に観察や声掛けを実施しました。ボランティアの方が作業中は、観察・声掛けをしながら、住民の方の話を聴きました。また、実際の泥除けも行いました。  
3日目は、他の看護師3名と自転車で矢野サテライトに行き、ボランティアの方が作業をしている場所を定期的に回り、ボランティアの方は勿論、住民の方の観察や声掛けを行いました。  
終了後はボランティアセンターに帰られたボランティアの方に、体調不良の確認・手洗いやうがい・水分補給の促しを行いました。

### ●支援先の状況

#### 支援に行った先の状況について気づいた点等

住民の方の話で、「災害から1カ月経ったが、病院に行く以外は毎日泥を運んでいる。旅行に行く予定だったが、行く事が出来なくなった。毎日つらい。」と言われていました。まだ日常生活に戻っていない事を実感しました。

### ●感じたこと、伝えたいこと

#### 活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点等

ボランティアの人の数が少なくなっており、必要な支援が出来ていない状態であると知りました。これからも支援の継続が必要だと思いました。

## スタッフ派遣 報告書

生協名	徳島健康生協	名前		派遣期間	2018. 8. 26
-----	--------	----	--	------	-------------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

○	広島市安芸区災害ボランティアセンター
	その他( )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

矢野東エリアの さん宅へボランティア 10 名とともに訪問。 さん宅には地域住民のボランティア 3 名の方も訪問されていた。作業開始時は 15 分区切りで作業・休憩した。最初の休憩ではボランティアさん同士、声かけあい交流していたが、2 回目休憩になると既に作業の方々の口数も減ってきたため、10 分毎の区切りへと変更した。休憩時には水分補給を促し飲み物を冷やしていた氷を配り体を冷やしてもらった。水分は持参しているものから摂取される方がほとんどで、社協で用意してくれていた水分を取られる方は少なかった。地域のボランティアさんが蜂にさされ、応急処置を行った。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

さん宅に来ていた地域の方は 20 代 (?) と思われる兄弟それまでお付き合いもしていなかったが、今回の災害を通じて支援にきてくれるようになり知り合いになったと聞いた。地域のつながりってこんな形でも生まれるんだと感じた。ボランティアさんの中には仕事が休みの日には参加している方、今は広島には住んでおらずお墓だけだが災害のニュースにいてもたってもいられず中学 3 年の子供さんを連れて参加された方もいて復興に対する想いを感じた。被災した方々が早くその人の望む生活が送れるよう支援し続けることが必要と思った。

ご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です。

## スタッフ派遣 報告書

生協名	尼崎医療生協	名前		派遣期間	2018.8.30 ~ 8.31
-----	--------	----	--	------	------------------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

○	広島市安芸区災害ボランティアセンター
	その他( )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

両日とも、テライトのない矢野東地区でボランティアさんのグループに同行し、ボランティアさんの健康管理。水分摂取やミネラル・塩分のチャージなどの摂取を勧めた。また、土嚢づくりの際に、ドラム缶に土嚢袋をかけて回ったり、土嚢に土を入れたり、できあがった土嚢を運ぶ作業などもボランティアの方々と一緒に行った。

2日目は、作業も手伝いつつ、タイムパ-をしながら休憩や水分摂取を促していたが、作業途中、暑さで息切れを訴えた方がおられたため、日陰で休んでもらい、水分補給とクーリング施行。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

1日目に入った支援先は、蜂が多く発生していると聞き、毒針吸引器も持参したが、幸い1、2匹飛んでいるのを見かけた程度で、特に蜂による被害はなかった。前日にも支援が入っており、庭の土砂は、元の庭の土が見えるまで更に除去が進んだ。2日目は、支援に入ったお宅より山側に並んでいた家々が土砂で破壊され、支援先の庭まで土砂が流入していたが、裏の土砂の丘には重機が入り、土砂の除去作業が始まっていた。支援に入ったお宅は、住居内の被害は無く、電気も復旧したものの、水道は完全には復旧しておらず、夜には再び避難所に戻れるとのこと。住人の疲労の様子がみられたが、近所の方も手伝いに来て下さり、笑顔もみられた。

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

7月の豪雨災害発生後2か月近く経過していたが、住宅も含め元の状況に戻るには、まだまだ時間も人手も要すると実感した。「支援に入ったその時に、できるだけ何とか要請に応えたい」という思いで、休憩もそこそこに無理をされる方もおられたが、作業内容によっては、その日の内には終わらないことも多く、だからこそ継続的なボランティアが必要であることも、併せて移動の前のカンファレンスで伝えておくべきだと思った。

また、今回はヘルを用意して頂いていたが、ボランティアの方が宿泊できる所をカトリック教会が無料開放しておられるので是非そちらも利用を、とボランティアセンターの方に教えて頂いた。そちらを利用させてもらえば、皆から集められた募金を少しでも多く現地に回せるのではないのでしょうか。

ご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です。

## スタッフ派遣 報告書

生協名	香川医療生協	名前		派遣期間	9/25
-----	--------	----	--	------	------

※ご記入は、可能な限りパソコン上でデータ入力（書体はMS明朝、12pt）をお願いします。

■活動先：支援活動先に○を付けてください。

○	広島市安芸区災害ボランティアセンター
	その他( )

■活動内容：

派遣期間中にあなたが行った支援活動の内容を具体的に記入してください。

坂町災害たすけあいセンター内の清掃、救急セットの確認。  
 AM 中のみ参加のボランティアスタッフのお迎え、体調確認。  
 1日参加のボランティアの迎への準備、帰ってきたスタッフ、ボランティアの体調確認。

■支援先の状況：

あなたが入った際の支援先の状況について気づいた点などを記入してください。

連休明けでボランティアの受け入れも縮小傾向で、社協の方たちも、これからの方針について、地区の人たちと話し合う会議を行っていた。  
 真夏に比べると、熱中症などの症例は減り、虫刺されや打撲、擦り傷などへの対応が主となってきたようでした。

■感じたこと、伝えたいこと、教訓について：

活動を通じて感じたこと、伝えたいこと、今後の教訓としたい点など、自由にご記入ください。

災害からある一定の時間が経ち、ボランティアを縮小していく目安の難しさ。その時の支援の在り方。

\*朝、間違えて、阿佐北区の社協に行ってしまう、坂町に到着したのが9時すぎとなって、ご迷惑をおかけしました。社協のボランティアセンターで看護支援をさせていただき、すごく勉強になりました。

ご協力ありがとうございました。報告内容は取りまとめを行う予定です。





